

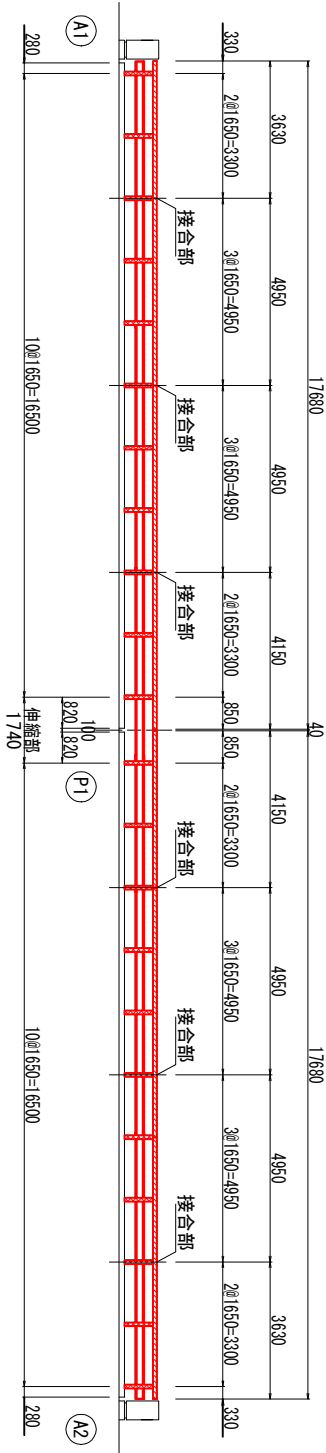
令和7年度	橋梁補修	工事
工事番号	第 31 号	
路線名	地ヶ谷地六戸線	
河川		
施工	三戸郡五戸町大字切谷内	
箇所		
防護柵補修箇所(2)	縮尺 各図記入	
図面番号	19 葉中 5	
五戸町		
青森県		

表 示	塗替塗装工(取替部材)
	塗替塗装工(既設部材)

塗替塗装位置図 S=1:100

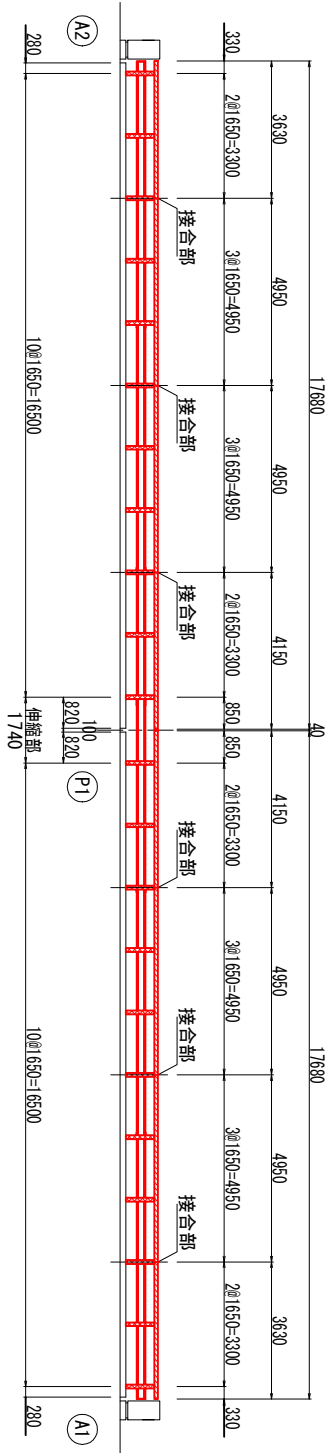
上流側正面図

A－A矢視図



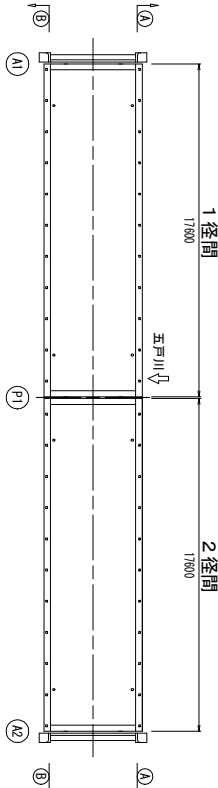
下流側正面図

B－B矢視図



## 防護柵補修図(2)

平面図 S=1:200



## 塗装仕様

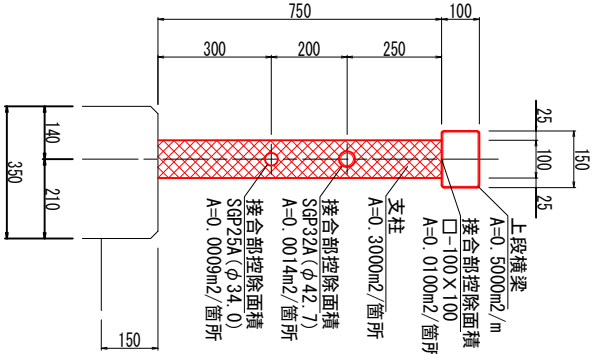
- 橋体工塗装仕様は、鋼道路橋防食便覧（平成26年3月）に準拠し下表のとおりとする。
- 塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。
- 湿式による剥離作業で生じた旧塗膜に関しては、周辺の土壌や河川を汚染しないように足場にシート防護を施して、その廃棄物は適切に処理を行う。
- 素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付け作業を開始すること。

## Rc-III塗装系

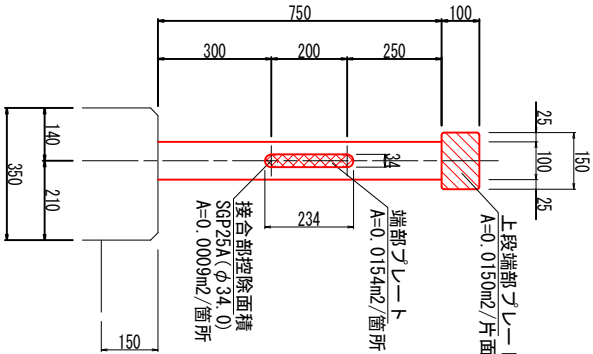
塗装工種	塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
剥離剤塗布	インハイロフエ法 (案) ※1	1,000 g/m <sup>2</sup>	
素地調整	3種クレソC		
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼材露出部の200 g/m <sup>2</sup> )		4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 g/m <sup>2</sup>	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 g/m <sup>2</sup>	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140 g/m <sup>2</sup>	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120 g/m <sup>2</sup>	1日～10日

※1. 剥離剤は塗膜剥離試験を実施して選定し、塗布量や塗布回数は試験施工を実施して決定すること。

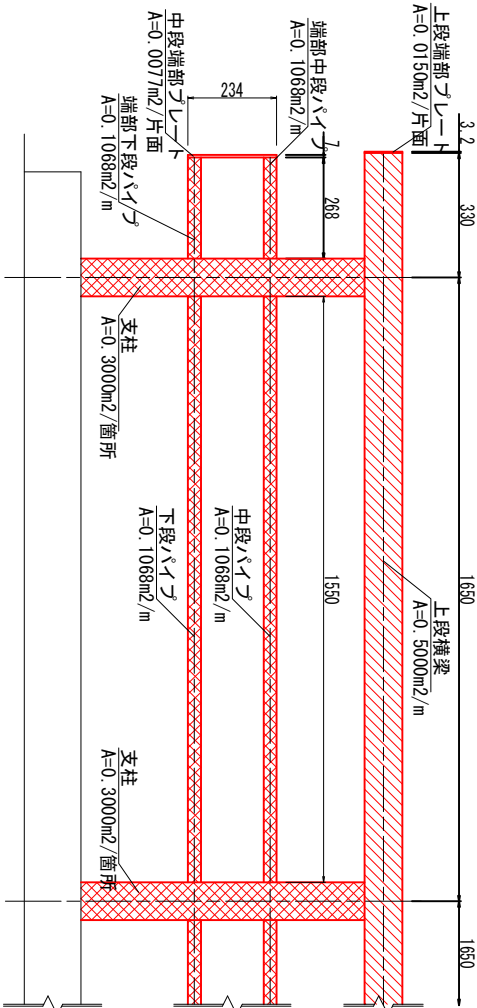
## 支柱詳細図



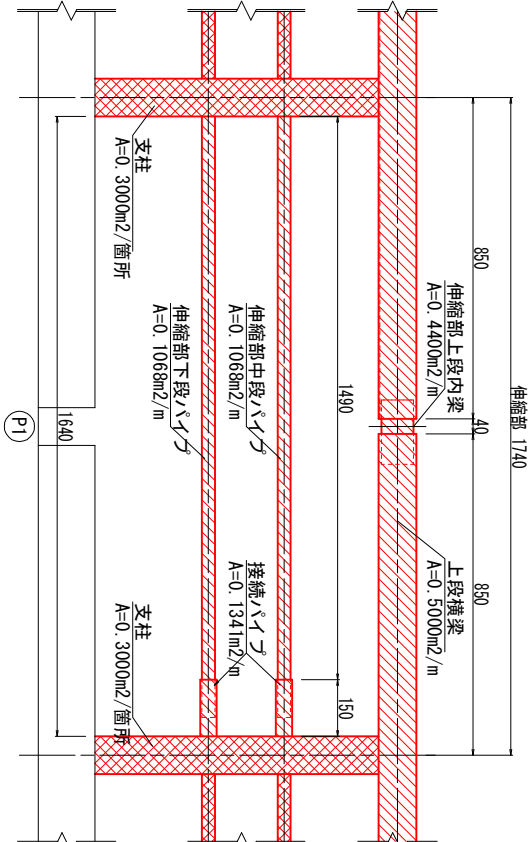
## 端部プレート詳細図



## 端部・標準部詳細図



## 伸縮部詳細図



- 注 記
- 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
  - 施工する際は、再度現地検測を行って寸法等を確認すること。
  - 旧塗膜は主桁・対傾機と同じ塗装と想定されるため、剥離作業は湿式を原則とし、剥離剤の塗布量及び塗布回数は、試験施工を実施して決定すること。